

電気通信大学 平成18年度シラバス

| | | | |
|---------|--|----------|--------|
| 授業科目名 | 露語運用演習 | | |
| 英文授業科目名 | Intermediate Practical Russian | | |
| 開講年度 | 2006年度 | 開講年次 | 2年次 |
| 開講学期 | 4学期 | 開講コース・課程 | 夜間主コース |
| 授業の方法 | | 単位数 | 2 |
| 科目区分 | 総合文化科目-言語文化科目-言語文化演習科目 | | |
| 開講学科・専攻 | 情報通信工学科 情報工学科 電子工学科 量子・物質工学科 知能機械工学科 システム工学科 人間コミュニケーション学科 | | |
| 担当教官名 | 斎藤 毅 | | |
| 居室 | 非常勤講師 | | |

| | |
|-------------------------|------------|
| 公開E-Mail | 授業関連Webページ |
| tksh.saito@nifty.ne.com | |

| |
|--|
| 【主題および達成目標】 |
| この授業は前学期の「露語演習」の続編の授業です。詳しくは「露語演習」の項をご覧ください。 |

| |
|-------------------------|
| 【前もって履修しておくべき科目】 |
| 露語第一・第二、露語演習 |

| |
|------------------------------|
| 【前もって履修しておくことが望ましい科目】 |
| なし |

| |
|--|
| 【教科書等】 |
| 教科書：黒田龍之介『ロシア語文法への旅』（大学書林） 参考書：米重文樹『パスポート初級露和辞典』（白水社） |

| |
|---|
| 【授業内容とその進め方】 |
| 基本的に前学期の「露語演習」と同じ教科書を用いて、前学期の続きから授業を進めます。 この「露語運用演習」の授業では、教科書の第21課から25課まで、すなわち最後まで進むことを目指します。文法事項の他、数字（時間・値段・電話番号等）、曜日、月など、実際の会話に必要な事項も多く学 |

電気通信大学 平成18年度シラバス

びます。

【成績評価方法及び評価基準(最低達成基準を含む)】

評価方法

- 1) 平常点(出席、授業時に行なう小テスト、授業での参加態度など)
- 2) 学期末試験またはレポート

評価基準

以下の到達レベルをもって合格の最低基準とします：

- 1) 毎回の授業に出席し、課題をきちんとなしている
- 2) 学習した範囲の文法事項を理解している
- 3) 学習した範囲の単語の意味が分かる

【オフィスアワー：授業相談】

質問・相談は授業終了後に受けつけますので、遠慮なく来てください。

【学生へのメッセージ】

とにかく途中であきらめず、無理をしてでも出席を続けるという心構えでいてください。これが外国語習得には大切なことです。

【その他】